

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	就労準備型 放課後等デイサービスwoody base		公表日 令和8年 2月 20日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	・部屋が少ない分、パーテーションを使用し、落ち着けるスペースを確保している。	・利用児童数や個々の特性に応じた支援体制を整えるため、職員配置の見直しや業務効率化を図り、個別支援の充実に努めてまいります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	4		・利用児童数および個々の特性を踏まえ、必要に応じた人員体制の見直しを行い、より質の高い個別支援の充実に努めてまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0		・今利用している児童には良い環境だと思う。 ・今後、配慮が必要な利用者がいた場合は、スロープなどの設置が必要になる。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	・職員も児童の毎日掃除に取り組んでおり、清潔な空間を保っている。	・今後も継続していく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	・個室があり、必要と感じた児童が自ら選択して使用できるようになっている。	・個室の数が足りないと感じる時がある。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	2		・活動に関して、振り返りが出来ていない。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		・定期的に保護者からの評価を設け、業務改善に繋げている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		・個人で話し合う事が多い。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4		・現在は自己評価を中心に実施しておりますが、今後は外部評価の導入についても検討し、透明性および質の向上を図ってまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	・研修など声掛け、メールやLINEなどのツールを使用して情報を伝達している。	・今後も外部研修の受講や社内研修に参加をし、職員の資質の向上に繋げていく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	1		・児童の発達状況や特性、保護者からの意向を踏まえて、作成している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3	2		・概ね6か月で更新をしている。 ・児童に対して、適切にアセスメントを行い、作成している。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	・話し合いを行っている。	・心がけてはいるが、出来ていない事もある。 ・今後も継続して、職員と意見交換を行い、作成をしていく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	2		・上手く出来ていない部分もある。 ・今後も、職員間での情報共有は、継続して行っていく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2		・よくわからない部分がある。 ・特定のツール等は使用しておらず、今後必要に応じて職員間で検討していく。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	・前任者の児発管からの変更後、見直しを行っている。	・今後、利用児童一人ひとりの発達状況や特性を踏まえ、より良い支援を行う為に、必要な項目を適切に設定していく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1		・一部のメンバーで行っている。 ・今後も児童が楽しいと思う活動を考え、活動プログラムを作成していく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0		・今後も児童が楽しめる活動を考え、取り組んでいく。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	2	3		・職員の数がないので、職員の数が増員されたら可能。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	・朝礼で話し合っている。	・今後も職員間の情報共有を行い、意見交換をしていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	4		・業務調整を行い、支援終了後の振り返り時間を確保することで、情報共有と支援の質の向上に努めてまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	2	3		・ケース記録、連絡帳が記録になっている。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		・概ね6か月に1度児童発達支援責任者が見直しを行い、適切な支援を継続していく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	1		・アセスメントを行い、またガイドラインの見直し等を行い、支援に繋げていく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0		・児童の意見を尊重し、定期的に職員間でも意見交換を行い、支援に取り組んでいる。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		・今後も児童発達支援責任者が参加をし、やむを得ず参加が出来ない時は、日頃支援に関わっている職員が代わりに参加するようになっている。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2		・今後も連携を継続させていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0		・出来ていない学校もある。 ・今後も連携を継続させていく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	5		・必要に応じて就学前施設との情報共有体制を整備し、円滑な移行支援を推進してまいります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	3		・その機会がまだない。 ・今後必要な場合は、適切に対応していく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	4		・地域関係機関との連携体制を強化し、交流機会の創出を検討してまいります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4		・地域関係機関との連携体制を強化し、交流機会の創出を検討してまいります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2		今後、必要に応じて協議会に参加をする。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	・送迎時に頻繁に会話をする。	・送迎に会わない時など、必要に応じて電話や連絡ツールを使用し、詳しく伝えていく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2		・外部講師に依頼し、保護者も交えながら性教育についての話を実施。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	1		・今後も継続して、契約時に丁寧に説明する。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		・アセスメントを通して保護者の意向を聞き、児童には日々の会話の中で確認していく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		・概ね6か月に1度児童発達支援責任者が見直しを行い、適切な支援を継続していく。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		・今後も適切な対応を心がけ、その後職員間でも共有し、支援に取り組んでいく。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	0	・年2回の保護者会を実施。	・兄弟同士はまだない。 ・今後も定期的に保護者会の開催をしていく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		・苦情があった場合は、迅速に対応し、社内で共有していく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0		・今後も定期的にSNSに掲載していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	・児童の手の届かない場所に置く。 ・鍵のかかる棚を使用。	・今後も継続して、個人情報の取扱いに注意していく。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		・今後も変わらず傾聴の姿勢で、わかりやすい言葉を使用していく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4	・プロのマジシャンの方の協力のもと、マジックショーを開催し他事業所の児童と交流の機会を設けた。	・地域関係機関との連携体制を強化し、交流機会の創出を検討してまいります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		・各種マニュアルについて、職員および保護者への周知方法を見直し、定期的な確認・訓練を実施してまいります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		・外部研修、社内研修に参加をし、職員の資質の向上を図る。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	3	2		・必要に応じて医師の指示書や診断情報の確認を行い、安全管理体制の強化を図ります。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2		・必要に応じて医師の指示書や診断情報の確認を行い、安全管理体制の強化を図ります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		・外部研修、社内研修に参加をし、職員の資質の向上を図る。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0		・今後、マニュアル等の使用し周知するように検討していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	2		今後も職員間で情報共有を徹底していく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1		・外部研修、社内研修に参加をし、職員の資質の向上を図る。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0		・今後も契約時に丁寧に説明をし、保護者の理解を得ていくよう努める。	